

とおかまち

Public Relations

市報

2021
1/10

令和3年 1月10日号

No.354



特集

市長新春対談 (3～9ページ)

株式会社良品計画 代表取締役会長 金井 政明 さん

かステイナブルな時代を
魅る
さきがけ

主な内容

- 2 市長の年頭あいさつ
ピックアップニュース
- 10 2020年の振り返り
- 12 申告相談会日程のお知らせ
- 14 「大地の芸術祭」の里 越後妻有2021冬 SNOWART
- 15 公売のお知らせ
2021年度 越後妻有文化ホール・サポーターズ「段サポ」募集
- 16 タウンピックアップ
連載コーナー①
- 17 サポーター通信
- 18 お知らせ・ガイド
- 25 ちびっこひろば／子ども情報のひろば
- 27 健康・福祉相談、休日救急医など
連載コーナー②
- 28 わたしの会社のいちおしワーカー

新たな時代にあるべき地方都市を目指して

十日町市長 関口 芳史

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまには、日ごろより市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、全世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、国内外を問わず人々の移動が制限され、新たな生活様式の実践とともに、これまでの生き方や働き方が大きく見直される1年となりました。その一方で、デジタル化の流れが加速し、東京一極集中から地方へと目が向けられ、人々が経済指標では換算できない真の豊かさを求める中で、当市では様々な新しい取組にチャレンジしてまいりました。

4月には、医療・介護・福祉の拠点施設「医療福祉総合センター」がオープンし、建物内に設置された「新潟県立十日町看護専門学校」では、市内外からの学生達が自らの夢に向かって勉学に励んでいます。

6月には、国宝・火焰型土器を所蔵する新博物館がオープンするとともに、当市のストーリー『究極の雪国とおかまち』が国の「日本遺産」に認定されました。さらに、文化観光推進法に基づく地域計画の認定もいただき、3億円

以上の国費の後押しを受けて、この地域の文化や魅力を全国に発信してまいります。

一方、グランドオープンした児童センター「めぐらんど」には市内外の子ども達が押し寄せ、コロナ禍で注目されるアウトドア志向の人々に向けた大蔵寺高原キャンプ場や清田山キャンプ場のリニューアルも着実に進んでいます。

そして、20年続いた大地の芸術祭の取組が評価され、「無印良品」を展開する株式会社良品計画と、地域活性化に関する連携協定を締結いたしました。この協定を機に、国の制度である「地域おこし企業人」として同社から職員1名を派遣いただき、地域の魅力の掘り起こしと事業化の可能性を模索しています。

また、脱炭素社会に向けて、12月に松之山温泉の地熱バイナリー発電所やエコクリーンセンターの使用済み紙おむつ燃料化実証施設が稼働しましたが、こうした実績を踏まえ、当市では、国や県に先駆けて、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

こうして振り返ってみますと、昨年はコロナ対応に忙殺されたものの、これまで積み重ねた努力が着実に実を結んできた1年だったと感じています。

そして今年は、全国各地の地方芸術祭の嚆矢とも言える「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2021」の本番年です。さらに、当市がクローアチア共和国のホストタウンを務める「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」も開催されます。これらのイベントが、コロナ禍で沈んだ国民の気持ち、とりわけ子ども達に多くの希望を与える機会になることを念願しています。

いまだに収束の見えないコロナ禍で、当市は市民の皆さまの命と生活を守るために、これまで6回にわたって独自の生活・経済支援策を実施してきましたが、私は、このコロナ禍を新たな価値観に挑戦するチャンスとも捉えています。アフターコロナという視点を持って、今後5年間の羅針盤となる「第2次総合計画・後期基本計画」の策定を進めるとともに、「新たな時代にあるべき地方都市」として、「選ばれて住み継がれるまち とおかまち」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さま一人ひとりとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新春のあいさつとします。

十日町市長 関口 芳史

株式会社良品計画 代表取締役会長 金井 政明

十日町市で始まる「感じ良い社会」

市長対談 第12弾

「大地の芸術祭」が つないだ縁

市長―金井会長、本日はお忙しい中、対談をお引き受けいただきありがとうございます。

金井―こちらこそ、よろしくお願ひします。

市長―さて、十日町市と御社は、昨年9月18日に連携協定を締結させていただきました。そして、その協定を機に、総務省のバックアップで、「地域おこし企業人」として御社から二神努さんを派遣いただいています（6〜7ページで紹介）。まだ着任から日も浅いですが、頑張っていたい

金井―成果として現れるのは先でしょうが、お互い有意義な派遣となることを期待しています。

市長―すでにいくつかの提案なども受けています。ぜひ十日町市のために活躍を期待しています。ところで、今回の協定締結についてご決断いただいた理由を教えてください。

金井―北川フラムさんと御市で取り組まれている、「大地の芸術祭」に共感したことがきっかけです。

元々、アートという白い天井と壁の空間を大理石やステンンドグラスで飾り、そこに

十日町市に魅力を感じ、応援してくれる人と関口市長が対談をする恒例企画。今回のお相手は、日常生活全般にわたる商品を揃える「無印良品」などを展開する株式会社良品計画の、代表取締役会長である金井政明さんです。

金井会長の株式会社良品計画と当市は、昨年9月18日に緊密な連携と協働のもと、さまざまな分野で相互に協力し、地域社会の発展と地域活性化の推進に寄与することを目的とした連携協定を締結しました。金井会長からは、今回協定を締結いただいた経緯、また、これからのまちづくりやビジネスのあり方などについて、市長とともに語っていただきました。※文中敬称略

※対談は令和2年11月18日に実施。撮影のためマスクは外していますが、ソーシャルディスタンスの確保・手指消毒・間仕切りの設置・換気など感染症対策を実施した上で行っています



「大地の芸術祭」で世界中から訪れた人たちが、
十日町市の暮らしを賞賛しました。
市民の皆さんは、うれしかったと思います。
—市長

関口 芳史 *Yoshifumi Sekiguchi*

十日町市長

ましたので、そのつながりもあつて、招待されたこともありました。
市長―過去3回を見ていた中で、どんな印象を抱かれましたか。
金井―アート鑑賞に加え、作品が展開されているその土地で積み上げられてきた、生活・文化を感じられるところが魅力ですね。先ほども言いましたが、田んぼのある風景であったり、石碑であったり。そして、人との交流。そこに住むおばあちゃんと会話できたり、また芸術祭を見に来た人たち同士でも、作品について

金井―私の意見として、「大地の芸術祭」がさらなる進化を遂げていくためには、訪れる人たちが自然とてなす仕掛けができると、より温かみのあるものになるのではないかと考えています。十日町市の方は実直でいらっしゃるけれども、それが高じて謙虚すぎる面があるように感じます。少しずつ、その面を薄めていくことができれば、まち

十日町市ならではの 魅力を磨き上げる

感想を言い合いながら仲良くなったりと、そんな交流も楽しんでいます。
市長―北川さんからは「アートのある、その向こう側を見てほしい」ということを、よく言われました。アーティストは、作品を置く場所にこだわります。それは、作品の向こうに見えるこの風景などを見てほしいといった思いを込めているのだと感じますし、私たちもそんな越後妻有のフィールドと一体になった作品に、魅力を感じます。

全体でお迎えするという雰囲気が出せ、さらに良いものになると思います。
市長―謙虚すぎる一因として、雪が多く降る地域でありますので、都会と比較したとき、自分の住むまちに自信が持てなかったことがあるのではないかと考えています。ところが、「大地の芸術祭」で世界中から訪れた人たちが、十日町市の暮らしを称賛しました。市民の皆さんは、非常にうれしかったと思います。
金井―今、市長がおっしゃった都会をうらやむ価値観というのは、戦後、特に高度経済成長の時代に作られたものです。しかし、この価値観はこれから逆転していくと感じています。
市長―それは、現在の「コ罗纳禍」もあるからでしょうか。金井―いえ、それだけではないでしょう。私は、これから地方都市は中途半端に都市化してしまうのが、この先困ってしまうのではないかと感じます。
「初めから美しい村はなく、美しくしようとする人たちが

いて、美しい村ができる」という学者の言葉を聞いたことがあります。この話にも従えば、「大地の芸術祭」をはじめ、十日町市が取り組まれているこの地ならではの生活・文化など魅力を掘り起こし、さらに磨き上げるという方針は、間違っていないと感じています。
市長―金井会長からそうおっしゃっていただけだと、自信になります。
金井―都会に住む人は田舎に、田舎に住む人は都会に憧れる、これは当然あると思います。であれば、関係人口と言われますが、その両方を実現すれば良いのではないのでしょうか。「大地の芸術祭」をきっかけに、十日町市の人と東京の人が仲良くなる。そして東京の人は、週末にのんびりとしたときはその友人を訪ねて十日町市へ向かう。逆に十日町市の人は、子どもなどが大学進学するときは、その友人を頼りに東京へ向かうなど、そんな関係性をつくっていただければ良いと思います。

金井 政明 さん *Masaaki Kanai*

株式会社良品計画 代表取締役会長

1957年生まれ。西友ストアー長野（現合同会社西友）を経て、1993年良品計画入社。生活雑貨部長として長い間、売上の柱となる生活雑貨を牽引し良品計画の成長を支える。その後、常務取締役営業本部長として良品計画の構造改革に取り組む。2008年2月代表取締役社長、2015年5月代表取締役会長に就任、現在に至る。西友時代より「無印良品」に関わり、一貫して営業、商品分野を歩み、良品計画グループ全体の企業価値向上に取り組む。

株式会社 良品計画

- 所在地＝東京都豊島区東池袋4-26-3
- 設立＝1989年6月（登記上 1979年5月）
- 資本金＝67億6,625万円
- 年商＝4,387億1,300万円（2020年2月期良品計画グループ連結営業収益）
- 従業員数＝17,096人（臨時従業員など 8,050人を含む／2020年8月期良品計画グループ）
- URL＝<https://ryohin-keikaku.jp/>
- 事業概要＝1980年に西友ストアー（現 合同会社西友）のプライベートブランドとして誕生した「無印良品」の、企画開発・製造から販売までを行う製造小売業として1989年に西友から独立。衣料品から家庭用品、食品など日常生活全般にわたる商品群を展開し、2020年8月期現在、展開アイテムは約7,500品目、店舗は日本を含む31の国・地域へと広がっている。



「大地の芸術祭」はアートに加え、作品が展開されているその土地で積み上げられてきた生活・文化を感じられるところが魅力ですね。
—金井

海外のアーティストによる作品を展示する、美術館などがない浮かびます。しかしそこでは、来館者は飾ってある作品を見ていたのではなく、誰の作品なのかなどの、キャプションを見ている気がしてなりませんでした。私自身、アートはもつと暮らしの中にあるものではないかと感じていましたので、「大地の芸術祭」には、非常に興味がありました。
実際に芸術祭に訪れてみると、曲がりくねった田んぼ道を通ったり、昔からここに鎮座していた道祖神の石碑を見たり、はたまた移動のために乗ったタクシーの運転手さんが、誇らしげに「あの作品は良いよ」と解説してくれたり、受け継がれてきた地域の歴史や文化を感じさせることはもちろん、人と人とのつながりなども含め、よくここまでものを築いてこられたなと、敬意を抱きました。そして北川さんから最終的に言われたことは、越後妻有は地元の人々が協力してくれて、また世界中からサポーターも来訪客も

やってくるので、もつと地元経済の活性化につなげたいというところをおっしゃっていました。そこで、私もお手伝いできないかということになりました。
市長―今では国内各地でさまざまな芸術祭が行われていますが、越後妻有の「大地の芸術祭」は全ての意味でパイオニアとなるプロジェクトで、北川さんからもご苦労をいただきました。その分、思い入れも強いのだと思います。
金井―新潟は北川さんの地元でもありますね。実は私も出身が長野県ですので、JR飯山線つながりで親近感もありました。
市長―これまでに「大地の芸術祭」は、どのくらい見ていただいたのですか。
金井―十年前くらいからですね。そこから3回連続で、訪れています。
市長―2012年第5回展から、2015年第6回展、2018年第7回展と見ていただいたのですね。
金井―作品を出した何人かのアーティストとも親交があり



自動車という社会の大きい構造が変わることによって、流通が変わる。それをリードするのは自分たちだということを、常々考えています。 —金井

炭素社会が叫ばれ、世界全体がそれに向かっていますが、車もEV化、さらに自動運転技術の実用化も見えてきています。そうすると、マイカーではなくカーシェア、公共交通に近い交通手段が主になる時代が到来すると考えています。そうすると、ショッピングモールの全盛ではなくなりますが、

活雑貨・食品」の商品を置かせていただくのです。これで、わざわざ遠くまで出かける必要もなくなります。市長―すでにある、十日町市内のスーパーで展開をされるということですか。金井―あるいは、道の駅などでも良いと考えています。十日町市民にとって、身近なところで、日常に必要な買い物ができるということが大事なのです。市長―そこに、金井会長がお考えになる大きな鍵があるわけですね。金井―はい。昔は商店街などで買い物をして、野菜の旬とか、魚のさばき方などを教わることができました。このように、これからは人々の生活圏の中に、コミュニケーターで

きる商業が必要なのです。これを実現できれば、我々は今までの日本の流通をひっくり返すことができるのではないかと考えています。市長―非常に壮大な内容ですね。金井―自動車という社会の大きい構造が変わることによつ

て、流通が変わる。そしてそれをリードするのは、自分たちだということを、常々考えています。市長―今、お話いただいたモーターリゼーションの変化を見据えた戦略は、世界に先駆けて日本で、そして我が十日町市でも実践いただけているということなのですね。金井―そうです。手法としては、私たちは土着化する人間を育成し、店を出店して雇用を生む。そのあとには、地域の産業をどうしたら応援できるかという課題に取り組むために、コミュニケーターの場を作ろうと思います。市長―それは、どのような取り組みなのでしょう。金井―直江津など、全国の無印良品で行っている「つながる市」という取組みです。これは、店舗と地域の方々で行っているマルシェ型のイベン

モーターリゼーションの 変化を見据えた挑戦

金井―ただ、私としては、ビジネスのことも含めて、これからは地方の時代だと強く感じています。「ローカルから始める明るい未来戦略」なんてことを考えています。市長―それはぜひ、お聞きしたいですね。

金井―昨年7月に上越市にオープンした「無印良品 直江津」も、正直成功する確信などはありませんでした。ですが、今のところ、予想以上に喜んでいただいております。市民の皆さんからも好評をいただいております。

市長―非常に賑わっているとお伺いしました。

金井―喜んでもらえると、ほかのアイデアも浮かんできます。今は上越市の人たちにも、アートを見てもらいたいと考えているところです。そのときには、越後妻有とどうつながったら良いかなど、また北川さんとも相談させていただきたいと考えています。市長―それは新たな展開が期待できますね。



市内での「MUJI to GO」販売の様子

それで、「無印良品 直江津」からは移動販売バス「MUJI to GO」を十日町市へも展開してもらっています。10月から実施されており、市民の皆さんからも好評をいただいております。

金井―拠点さえできれば、そこから移動販売バスなどで、中山間の集落などに出向いて販売ができます。私たちも商売で勝ち残っていかなくてはなりませんので、これはその戦略の一つです。

振り返ってみると、マイカーを持つ人が少なかったころは、百貨店が全盛でした。週末になると家族で電車に乗り百貨店に行って、買い物をし

て、屋上で観覧車を楽しんで、そんな時代でした。次にマイカーが広く社会に普及した「モーターリゼーション」がやって来る。すると、GMS、いわゆる「総合スーパー」が台頭してきて、そこで食料品や日用品に限らず、衣料、家電、家具など、ワンストップショッピングができる時代になりました。そして、モーターリゼーションがさらに進み、

地方では人口よりも自動車登録台数の方が多くなるという現象も出てくると、全国至るところに、郊外型の巨大なショッピングモールができる時代になったのです。広い空間に、ブランドショップが並び、食事を楽しむこともできて、映画を見ることができ、一種のエンターテインメントです。それを楽しみに、マイカーで向かうわけです。

しかし、よく考えてみると、あんな広いところで買い物をするのはかえって大変ではないかと感じませんか。市長―なるほど。確かにそうかもしれませんね。金井―何よりこれからは、脱

「地域おこし企業人」二神 努 さんを紹介します



まずは自己紹介をお願いします

十日町市での「地域おこし企業人」としての仕事はいかがですか

今後の目標や抱負をお願いします

岡山県出身の36歳で、良品計画に入社して10年目となりました。昨年、社内研修の一環で初めて新潟県を訪れ、地域に巻き込まれながら事業を展開していくことに興味を持ち、「地域おこし企業人」制度の社内公募に手を挙げ、十日町市へ派遣されることになりました。

毎月10日の移動販売バス「MUJI to GO」の運行では、多くの方にご来店いただき、改めて「無印良品」への期待を感じることができました。まだ始まったばかりですが、地域の方々と直にコミュニケーションをとりながら進めていくことが楽しく、どういったことが十日町市の役に立つのかを日々考えながら、業務に務めています。

皆さんとともに、一緒に汗をかきながら十日町市の役に立てるよう一生懸命働いていきます。また、初めての雪国、十日町市での暮らしを楽しみたいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

※地域おこし企業人について：地方公共団体が、三大都市圏に所在する民間企業などの社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かし、地域独自の魅力や価値の向上などにつながる業務に従事してもらう総務省のプログラム。令和元年度は65自治体で95人の人材が活動（総務省ウェブサイトより引用）

しくて、「つながる市」を行っています。

少し前までは、消防団や青年団などの地域での協働活動があり、そこでの活動を通して、誰もが自分が社会を支える一員であるという自覚を持つことができました。しかし、これらコミュニティは現在崩壊しています。ですので、皆が無関心になり、全て行政に委ねるようになりました。これでは、行政側も財政難の中、ますます対応が難しくなります。

「感じ良い社会」を目指して

金井―私たちには「役に立つ」という大戦略があります。その中で、「農と食」を何とかしようということも考えています。

市長―千葉県鴨川市で、棚田を含む里山の保全に取り組まれている、ということをお伺いしました。

金井―コロナ禍もあって、米価が下がっていて、農家の皆さんも困っています。そうし

て、経営できなくなったり、後継者もいなくなったりして、耕作放棄地も増えていますよね。そんな中、私たちはお米を2万円で買い取って、3万円で売る方法を考えようと、取り組んでいます。

市長―それは、どんな方法なのですか。

金井―米はパックライスにして販売します。そうすることで、高く売ることができます。そして、「米ぬか」からは米油や、エタノールを作ります。このエタノールは、化粧品にすることができず。さらに、「もみ殻」からは石油を使わない、プラスチックができません。このように、高い値段で

買い取れる付加価値を見出す。これを、日本全国、いや世界に向けても展開してみようと思っています。こうして、きちんと収益のある農業を確立することができれば、社会へのインパクトは非常に大きくなります。

市長―収益のある農業については、私たちも今さまざまな取組みを行っています。

金井―食については、今冷凍

技術が非常に進歩しました。この技術を生かして、多種多様な冷凍のお惣菜を作り出す。これを、一人暮らしの高齢者や、忙しい核家族などに配送するサービスを行う。そうすれば、デリバリーフードサービスなどより、さらに安価で、かつ高品質なおいしい食べ物をお家に提供することができます。また、これが実現できれば、お惣菜の原料となる野菜を安定的に買い取れることにもなるため、農家の皆さんにとってもメリットは大きいと思います。今、千葉で少しずつ取り組み始めています。

こうした社会にインパクトを与える取組みを、私たち企業だけでなく、その地域の行政、そしてそこに住む人たちと一緒に進めていきたいと思っています。これが、弊社が目指す姿の「感じ良い社会」です。

市長―まさに、「感じ良い社会」そのものだ、私も思います。

十日町市でも、すでに学校給食などで野菜の安定供給に

関する取組みなどを始めています。おかげさまで、地産地消率は非常に高くなっています。

金井―それをどんどん高めていただいて、地域でお金を循環させるといふ仕組みを作っていたのだと思います。また、農家の皆さんへの提言として、日本の農業は、今まではただ作るだけの時代でした。しかし、これからは消費者と交流しながら直売する機会を設けたり、また加工もしたり、6次産業も行ったりなど、収益のある農業を行えるように、考えなくてはならないと思います。

一緒に明るい未来を創造

市長―会長からも評価いただきましたが、越後妻有には非常に恵まれた環境があって、そこに我々は生まれ落ちました。その中で、先人たちから受け継いだものをさらに磨いて、次の人たちに受け渡す。駅伝のようなものですね。

金井―私もそう思います。

今、私たちの中からは、「お

と人とのコミュニティ、つながりがあるからこそ安心して、子どもを産むことができるからだと思っています。

市長―そうですね。家庭が大事ですからね。お父さん、お母さんだけでなく、おじいちゃんやおばあちゃんもいて、近くには親戚のおじさんやおばさんもいて、そんなコミュニティがあるからこそ、安心して子どもを産み、育てられるわけですからね。

金井―一方、東京ではそれなりの所得があっても、そんな安心感が担保できません。社会の孤立は進んでしまっています。

市長―今、会長がおっしゃられて危惧されていることは、ここ数十年の急激な変化でしたね。

金井―戦後以降の変化であると思いますね。

市長―この流れを元に戻さなければなりませんね。

金井―そうですね。

市長―会長のお話を伺って、モータリゼーションが次のステージに到達したときの新たな社会は、明らかに違ったも

互いさま、「おかげさま」、「いただきます」など、そんな感覚がなくなってしまうような気がします。それは今の資本主義が、経済が優先されて、利益が目的になってしまっているからだと思います。本来は、社会や人々の役に立つ事業をやった結果、利益になるという考えを持たなくてはなりません。しかし、私たちは経済成長を目的として、効率化できる教育を学生時代から、そして会社に入ってから、社会や先々の未来のことよりも今をどうにかすればよい、というような考えを教えられてきました。昔、森林は自分の孫やひ孫の代までのことを考えて植林していたと聞いています。そんな感覚を私たちの世代は失くしてしまつて、自分のことだけを考えてしまつて。本当の豊かさがなくなつてしまつたなと感じてしまっています。

実際に都会より、地方の方が出生率が高いですよ。では、所得が高いかといわれるとそんなことはない。なぜなのかというのは、やはり、人

のなるということでした。そういった中で、新しいシステムの構築など、チャレンジにあたり御社が私たち十日町市を見てくれているということについて、非常に光栄でありがたい限りです。私たちも、その期待にしっかり応えられるよう、将来のありようについて考え、変化していかねければならないと感じました。

金井―私たちも、勉強しながらやっています。一緒に、明るい未来を創造しながら、汗をかければ、我々もうれしいです。

市長―その中で、二神さんという人材を派遣していただきました。本当に感謝申し上げます。

金井―やらなければならぬ仕事なら、役に立つことを、面白くやろうというのが、弊社のスタンスです（笑）。一緒に面白がってやってください。

市長―ぜひ、よろしく願います。本日は貴重なお時間、またお話をいただき、ありがとうございました。



取材協力：株式会社良品計画

対談写真：山田努（サンタ・クリエイト）撮影

私たちも、新たな社会を見据えた新しいシステムの構築など、御社のチャレンジにしっかり応えられるよう、将来のありようについて考え、変化していかなければならないと感じました。 ―市長

2020年の振り返り

これまでの努力が実を結んだ1年となりました

問合せ：企画政策課広報聴係 ☎757-3112

新型コロナウイルス感染症の影響で、社会が大きく変動した2020年。「新しい生活様式」の実践など、暮らしが大きく見直されました。そんな中でも、「医療福祉総合センター」や「新博物館」のオープン、「究極の雪国とおかまち」ストーリーの日本遺産認定など、十日町市がこれまで積み重ねた努力が着実に実を結んだ年になりました。できごととともに、当市の1年を振り返ります。

1月

- 新型コロナウイルス感染症が全世界へ感染拡大し、WHO（世界保健機関）が「国際的な緊急事態」と宣言（30日）

2月

- 「第2期十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定（7日）
- 少雪により十日町雪まつりを規模縮小して開催（15日～16日）^①
- イタリア共和国・コモ市との姉妹都市提携が締結から45周年を迎える（27日）
- 十日町市新型コロナウイルス感染症に関する警戒本部を設置（29日）

3月

- 松之山地域で交通死亡事故ゼロ3000日を達成（12日）
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの延期が決定（24日）
- 特別養護老人ホーム「なの花」が竣工（26日）
- 野首遺跡出土品が新潟県文化財に指定（27日）
- 清津峡渓谷トンネルのリニューアル後の入坑者数が50万人を達成（29日）^②
- 第1回総合計画審議会を開催（30日）※11月19日まで全6回開催
- 「第2期十日町市人権教育・啓発推進計画」、「十日町市子ども・子育て応援プラン」を策定（31日）

4月

- 十日町市医療福祉総合センターのオープン、および新潟県立十日町看護専門学校の開校（1日）^③
- 認定こども園あおのもり、千手さくら保育園が開園（1日）^④※水沢・千手保育園の閉園により「公立保育園の統廃合及び民営化計画の第2次実施計画」が完了
- 市営バス仙田線が運行開始（1日）
- スマートフォン決済アプリ「PayPay」などによる市税の納付開始（1日）
- 農林水産省「スマート農業実証プロジェクト」の実証地区に採択され、企業・県・地域生産者で棚田地域でのスマート農業技術実証を開始（1日）^⑤
- 十日町市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置（7日）
- 社会福祉法人十日町福祉会と「使用済み紙おむつ燃料化事業」契約を締結（10日）^⑥
- 記録的な少雪となった今冬において、市内5つの主観測所全てで消雪（11日）
- 新型コロナウイルス感染拡大により「緊急事態宣言」が全国に発令（16日）※5月25日に解除
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、十日町市帰国者・接触者外来での診療を開始（17日）
- 十日町市新型コロナウイルス感染症相談窓口（コールセンター）を開設（27日）
- 十日町市次期一般廃棄物最終処分場の整備工事に着工（1日／松代海老）
- 子育て世代の女性が働きやすい職場環境づくりに取り組む企業・団体を支援する「子育て応援企業バックアップ事業補助金」を開始（7日）
- 下条・吉田・松代・山平・奴奈川・松之山・浦田の7地域が棚田地域振興法の指定棚田地域に指定（20日）※12月16日には中条・水沢・貝野の3地域も指定
- 全国の郵便局で火焰型土器を含む特殊切手「国宝シリーズ第1集」が発行（29日）

5月

- 新十日町市博物館が開館（1日）^⑦
- 市道南雲原本線道路改良工事が竣工し、全線開通（3日）
- ゼロカーボンシティの実現に向けて「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明（8日）
- 「究極の雪国とおかまち－真説！豪雪地ものがたり－」のストーリーが日本遺産に認定（19日）^⑧

6月



7



8



9



10



11



12



13

7月

- 「ミシュランガイド新潟2020特別版」が発表され、市内の飲食店や宿泊施設から10店舗が選出（14日）
- 屋外広場「しばふ広場」がオープンし、十日町市児童センター「めごろんど」がグランドオープン（22日）^⑨
- 十日町高校松之山分校で、市職員による地元の魅力を伝えるキャリア教育の推進プラン「十日町市の現状・課題・取組を理解するプログラム」を実施（22日）

8月

- 十日町市UIターン情報誌「I'm home! Tokamachi vol.1」を発行し、全世帯などへ配布（10日）※12月10日にvol.2を発行
- 十日町市文化観光推進協議会、十日町市文化観光推進地域計画策定協議会を設立（11日）
- 市内全域で防災行政無線の屋外スピーカー放送を開始（17日）
- 被爆・戦後75年特別事業「吉永小百合・村治佳織チャリティ朗読コンサート」を開催（23日）
- 「松之山指定棚田地域振興協議会」と「布川の棚田と生きる会」の活動計画が棚田地域振興法の指定棚田地域振興活動計画に認定（31日）

9月

- 未就学児の通院に係る医療費の無料化を開始（1日）
- ヤフー株式会社と災害時応援協定を締結（10日）
- 新病棟が開院し、新潟県立十日町病院が全部開院（11日）^⑩
- 「無印良品」を展開する株式会社良品計画と連携協定を締結（18日）
- 市のPRを目的とした、東京コミュニケーションアート専門学校の学生デザインの「お土産用ペーパーバッグ」を商品化（24日）
- 新十日町市博物館オープン記念秋季特別展「縄文の遺産－雪降る縄文と星降る縄文の競演－」を開催し、長野県茅野市所蔵の国宝「縄文のピーナス」が新潟県内初公開（26日～11月8日）

10月

- 清田山キャンプ場サニタリー棟およびフリーサイトの利用開始（1日）^⑪
- 無印良品の移動販売バス「MUJI to Go」が初めて来市して販売（10日）^⑫
- 中高生に市内の企業・産業を知ってもらう「まちの産業発見塾」を開催（14・15日）
- 十日町市観光大使の日本銀行佐久田健司新潟支店長による講演を実施（16日）
- 教育委員会で「第2次学区適正化方針説明会等の総括」を決定（27日）

11月

- 新型コロナウイルス感染症対策のため、十日町市地域外来・検査センターを開設（13日）
- 文化観光推進法に基づく地域計画「とおかまち スノーカントリーミュージアム－雪の中のARTS & CULTURE－」が文部科学大臣・国土交通大臣認定（18日）
- 世田谷区と自然エネルギー活用を通じた連携・協力協定を締結（24日）
- 小規模多機能型居宅介護事業所「ゆいテラスやまや」が竣工（28日）

12月

- ふるさと納税を活用したふるさと起業家支援事業を開始（1日）
- 全6回の審議会を踏まえ、第二次十日町市総合計画後期基本計画案について総合計画審議会から市長へ答申（10日）^⑬
- 「コミュニティ発電 ザ・松之山温泉」発電所が開所（13日）
- 使用済み紙おむつ燃料化実証施設が竣工（23日）
- 一般国道403号小白倉工区が開通し、大白倉改良の全区間が供用開始（26日）

新型コロナウイルス感染拡大のため、延期や中止となった主なイベント・催し（市が主催・実行委員会の一員で開催するもの）

延期

「成人式」（令和3年3月14日開催予定）、「東京2020オリンピック聖火リレー」（令和3年6月4日開催予定）、「東京2020パラリンピック採火式」（開催日未定）

中止

「越後妻有雪花火2020」、「第32回 雪原カーニバルなかさと」、「第33回 越後まつだい冬の陣」、「第44回 十日町きものまつり」、「十日町きものGOTTAKU」、「十日町おまつり」



1



2



3



4



5



6

市民税・県民税の事前相談会を開催します

収支内訳書や医療費の明細書など、申告書類の作成に困っている人を対象に、事前相談会を開催します。希望する人は各支所市民課に日時・内容などを伝え、必ず予約して来場ください。青色申告をする人は、十日町税務署または青色申告会に相談してください。

●**会場・日程**＝各会場とも相談時間は午前9時～正午、午後1時～4時

会場	日 程	予約・問合せ先
川 西 支 所	2月9日(火)、10日(水)	川西支所市民課 (☎768-4956)
中 里 支 所	2月12日(金)、15日(月)	中里支所市民課 (☎763-2513)
松 代 支 所	2月5日(金)、8日(月)	松代支所市民課 (☎597-2221)
松 之 山 支 所	2月4日(水)	松之山支所市民課 (☎596-3152)

●**必要なもの**＝営業など・農業・不動産の収入および必要経費のわかる書類、医療費の領収書
※申告書の作成について相談する人は、源泉徴収票など申告に必要な書類を持参してください

社会保険料控除証明書を送付します

令和2年中に普通徴収（納付書または口座振替）で納付した国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の控除証明書を、1月下旬に発送します。

なお、年金から天引きされた保険税（料）額は、年金の源泉徴収票に記載されています。

申告書は郵送で提出できます

自身で申告書を作成した人は、申告書に必要な書類を添付して、税務課に郵送で提出することができます。

【提出先】〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
十日町市役所 税務課市民税係

十日町税務署からのお知らせ

感染リスク軽減のために「自宅からe-Tax」を利用してください

- 新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減するため、自宅から申告できるe-Taxをぜひ利用してください
- 申告の相談は、自宅から電話やチャットボット（インターネット上での質疑応答）でも可能です。e-Taxで分からないことがあるときも、電話で問い合わせできますので、ぜひ利用してください
- 書面で作成した申告書は、郵送での提出をお願いします

確定申告会場への入場には「入場整理券」が必要です

- 会場内の混雑緩和のため、確定申告会場への入場には、入場できる時間枠が指定された「入場整理券」が必要です
- 入場整理券は各会場で当日配付しますが、LINEアプリを通じたオンライン事前発行もできるようになります。詳しい方法は次項目を確認してください
- 入場整理券の配付状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります
- 当日の配付状況は、国税庁ホームページから確認できます（2月16日開始予定）

LINEアプリからの入場整理券取得方法

※1月25日以降サービス開始予定

国税庁LINE公式アカウント



※LINEのホーム画面で「国税庁」または「@kokuzei」と検索しても友だちに追加できます

STEP ① LINEアプリから国税庁LINE公式アカウントを友だち追加

STEP ② 「トーク」画面から「相談を申し込む」を選択

STEP ③ 税務署や来場希望日時を選択

STEP ④ 内容を確認して「申込」をタップすれば完了、入場時に申込完了画面を提示すればOK

申告相談会日程のお知らせ



市民税・県民税の申告相談会日程（前半）のお知らせ

●●●●●問合せ：税務課市民税係 ☎757-3716

今年の申告相談会は、3密（密閉・密集・密度）対策として、例年より早く2月4日から開催します。早めに書類の準備をお願いします。また混雑緩和のため、各地区の指定日に来場してください。なお、健康状態により入場をお断りすることがあります。

※今回、掲載のない川治地区・中条地区・川西地域・松之山地域の日程は、市報2月10日号でお知らせします

●十日町地域の日程

申告会場	地区名	期 日	行政区（受付時間：午前8時30分～11時30分、午後0時45分～3時30分）
保健センター（市役所本庁舎隣）2階 集団検診室	六箇吉田	2月4日(水)	【午前】中村、六箇山谷、麻畑、田麦、ニッ屋、船坂、塩ノ又 【午後】稲葉、吉田山谷、小泉1～3、樽沢
		5日(金)	【午前】北鐙坂1～3、南鐙坂 【午後】高島1・2、鉢1・2、中手、中平、名ヶ山
	下条	8日(月)	【午前】上新田1～4、山際、原、廿日城、岩野、下条栄町 【午後】下条中央通り、桑原、野田、蟹沢、為永
		9日(火)	【午前】下条本町、山根、貝ノ川、新保、水口、下条下山 【午後】新光寺、仙之山、平、瀧野、二子、願入、塩野
	水沢	10日(水)	【午前】水沢1～3、馬場1～4、太田島1～3、土市1～5 【午後】新宮1・2、当間、大石、南雲、中在家、水沢市ノ沢、珠川
		12日(金)	【午前】伊達1～4、大黒沢1～3、姿1・2、安養寺、幸町 【午後】大黒沢東、小黒沢、天池、細尾、池ノ尻、漆島、池沢、野中、鍬柄沢
	十日町	18日(木)	【午前】本町1～6の3、袋町東・中・西、十日町栄町 【午後】寿町4、高田町1～3西、田中町東・西
		19日(金)	【午前】高田町3南、丸山町、昭和町1～4、西寺町、七軒町、泉町、加賀糸屋町 【午後】関口樋口町、駅通り、西浦町東・西、稲荷町1～3北
		26日(金)	【午前】稲荷町4、稲荷町西、西本町1～3、千代田町、八幡田町、下川原町 【午後】宮下町東・西、諏訪町、神明町、学校町1・2、水野町、若宮町
		3月1日(月)	【午前】田中町本通り、川原町、上川町、大池、十日町赤倉 【午後】田川町1～3、住吉町、江道、猿倉、津池、菅沼

●中里地域の日程

申告会場	期 日	行政区（受付時間：午前8時30分～11時30分、午後0時45分～3時30分）
中里支所大会議室	2月16日(火)	【午前】芋沢、田沢本村、東田沢、如来寺、豊里、桂 【午後】上山、田中、小原、干溝
	17日(水)	【午前】荒屋、山崎、桔梗原、通り山 【午後】高道山、朴木沢、宮沢、市之越、鷹羽、白羽毛、程島、東田尻、角間、葎沢、土倉、倉下、小出、西方、西田尻、芋川新田
	18日(木)	【午前】芋川、倉俣、原町、新里、重地、清田山、中里下山、田代 【午後】新屋敷、本屋敷、堀之内、宮中

●松代地域の日程

申告会場	期 日	行政区（受付時間：午前8時30分～11時30分、午後0時45分～3時30分）
松代支所大会議室	2月22日(月)	【午前】福島、奈良立、室野、竹所、星峠、木和田原 【午後】田野倉、仙納、昉平、寺田、名平、蒲生、儀明
	24日(水)	【午前】小荒戸、太平、菅刈、松代田沢、会沢、清水、桐山、蓬平 【午後】松代1～24班
	25日(木)	【午前】小屋丸、池之畑、松代下山、松代東山、海老、犬伏、孟地、片桐山、滝沢、中子、芋島 【午後】松代25～51班、千年、青葉、池尻

申告会場ではマスク着用に協力をお願いします



公売のお知らせ



差押財産の合同公売を実施します

問合せ：税務課管理収納係 ☎757-3113

【留意事項】
・出品財産の詳細は、税務課窓口備付けのカタログ、十日町市ホームページを確認してください
・下見会を1月16日(土)・17日(日)午前9時から午後4時30分まで、保健センター(市役所本庁隣)2階集団検診室で実施します。インターネット公売(参加申込期間1月6日(水)午後1時から1月19日(火)午後11時まで)に出品予定の動産も見ることができ

十日町市の出品財産



着物類 (反物、帯、浴衣、小物など)	約100点
雑貨類 (陶器、アウトドアグッズなど)	約30点

市税などの滞納者から差し押さえた財産の公売を県・ほかの市町村と合同で実施します。この合同公売では、県やほかの市町村の差押財産にも入札ができます。
●公売方法 期間入札
●入札場所 十日町市役所税務課および関係団体の窓口
●入札日時 1月8日(金)から1月20日(水)まで
●開札日時 1月22日(金)
●代金納付期限 2月3日(水)



2021年度 越後妻有文化ホール・サポーターズ「段サポ」募集



会員になってもっと段十ろうを活用しませんか

問合せ：越後妻有文化ホール「段十ろう」 ☎757-5011



段十ろうをもっと有効利用してもらうために、会員制となるサポーターを募集します。会員のみが受けられるお得な特典やサービスがありますので、ぜひ入会してください。なお、2020年度段サポ会員は2021年度末まで、会員証の使用や割引券の利用など会員特典を継続して使うことができます。

特典 ① チケット先行販売
一般販売開始より前にチケットを購入できます。

特典 ③ 使用料減免
当館ホールの練習使用料が1時間1,000円となります。使用するときは練習用の申込書を提出してください。

特典 ② 会員割引券
当館窓口でチケット購入するときに利用できる500円割引券を、個人会員は1口2枚、法人会員は1口4枚もらえます。

特典 ④ イベント情報発信
メールでイベント情報や先行販売、割引券対象となるイベントの情報を配信します。

【会費】

個人会員
1口 2,000円
法人会員
1口 5,000円

申込方法 1

窓口で申込書を記入し、会費を支払ってください

申込方法 2

FAX・郵送で申込書を提出してください

申込方法 3

WEBフォームで入力してください

耳より情報

現在、ものまねタレント「コロケ公演」のチケットを好評発売中です。また今年から会員申込がWEBでも可能になりました。詳しくは段十ろうホームページを確認してください。

申込み・問合せ先

越後妻有文化ホール 段十ろう
〒948-0083十日町市本町1丁目上508番地2 ☎757-5011・F757-5010

その場で会員証を発行します

入金案内を郵送します

金融機関で会費を入金してください

入金確認後会員証を郵送します



段サポ会員入会WEBフォーム入力QRコード

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

「大地の芸術祭」の里 越後妻有 2021 冬 SNOW ART

問合せ＝「大地の芸術祭」の里 総合案内所 ☎761-7767

お得な共通パスポートを手に

冬の越後妻有や現代アートを楽しみませんか

会期
1月23日(土)～3月14日(日)

雪あそび博覧会

まつだい雪国農耕文化村センター
「農舞台」野代会場

越後妻有里山現代美術館「キナーレ」
(回廊部分)

「縄ない体験」や凧作りなど、小さいころにあったさまざまな「冬のあそびごと」が体験できます。
▼日時＝2月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)、3月6日(土)、7日(日)
午前10時～午後4時(最終午後3時30分)
▼料金＝500円、小中学生300円
▼参加作家＝松代案山子隊、ReBuilding Center Japan、磯崎道佳、松本勇馬、雪アート新潟ユニット、堀川紀夫+山ぞり隊

雪上での「雪板」遊び、「チンコロ」づくり、おもちを焼いて楽しむ「おもちバー」など、雪国の冬を満喫できる企画が目白押しです。
▼日時＝1月23日(土)～3月14日(日) 午前10時～午後5時(最終午後4時30分) ※水曜日休
▼料金＝800円、小中学生400円
▼参加作家＝岡藤石、鞍掛純一、深澤孝史、YORIKO



Photo by NAKAMURA Osamu

※キナーレ、農舞台はリニューアル工事中です。雪あそび博覧会は野外で行います



Photo by NAKAMURA Osamu

オフィシャルツアー

冬の越後妻有を感じる、越後湯沢発着の日帰りバスツアーを運行します。雪国の知恵と文化が詰まった、「雪見御膳」とアート作品をお楽しみください。
▼日時＝1月23日～2月28日の間、毎週土・日曜日運行
▼料金＝12,800円、中学生以下10,800円
▼申込み＝大地の芸術祭ホームページ(下記参照)から



Photo by YANAGI Ayumi

▼上記のほかにも限定公開作品などがあります。詳しくは「大地の芸術祭」の里ホームページ(<http://www.echigo-tsumari.jp/>)をご覧ください
▼各施設では安心・快適に作品鑑賞ができるように、感染症対策を行っています。ぜひ、この機会に魅力たっぷりの十日町市をお楽しみください

TICKET ！ お得なクーポン付き 共通パスポート

パスポート1枚で、「キョロロ」や「最後の教室」など全ての企画展、野外アート作品を楽しめます。**地元飲食店や温浴施設で使えるクーポン付き**で、さらにお得に。

▼販売場所＝十日町駅観光案内所、キナーレ、農舞台、越後妻有オンラインショップほか
▼料金＝2,000円(クーポン券500円×2枚付)、小中学生500円
▼有効期間＝1月23日(土)～3月14日(日)※平日も有効(クーポンは3月31日(水)まで有効)



文部科学大臣表彰 (スポーツ推進委員功労者)

吉楽 一彦さん (65歳・宮中)

「スポーツ推進委員」として、競技全般に渡る幅広い知識を生かし、各種事業の実技指導および企画に尽力されました。このような、長年に渡る地域スポーツの推進活動への功績が認められました。

※ほか、市内では3人が全国スポーツ推進委員連合から「30年勤続スポーツ推進委員表彰」を受賞しました

3密を避けての歯科健診

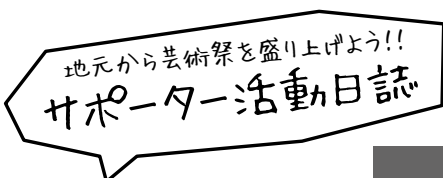
11月27日(金)：なごみの家・障福エンゼル妻有 (塚原町)

なごみの家 (社会福祉法人十日町福祉会)、および障がい福祉サービス事業所エンゼル妻有 (社会福祉法人妻有福祉会) の利用者57人に対し、障がい者歯科健診が行われました。これは、十日町市中魚沼郡歯科医師会の主催で毎年行われているもので、今年で19回目になります。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で延期され、11月の「にいがた健口月間」にあわせた実施となりました。健診を行った二瓶広之歯科医師は、「今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、3密を避けての実施となりました。これらが早く終息し、昨年までと同じような健診ができるようになれば幸いです」と話してくれました。



健診の様子

連載コーナー Serialization corner



活動の様子を発信中!



サポーター募集活動 in 松代高校

12月10日(木)：松代高校、
12月14日(月)：奴奈川キャンパス

松代高校の1年生に対し、12月10日は北川フラム総合ディレクターから「大地の芸術祭」について、翌週14日は「脱皮する家」の作家の鞍掛純一さんから作品についての講演がありました。これは、地元の高校生に地域や芸術祭の魅力を伝え、芸術祭に関心をもってもらうための取り組みです。12月14日の午後からは、鞍掛さんによる彫刻のワークショップを実施し、地元サポーターもお手伝いしました。アートの制作工程を体験することで、生徒たちもアートを身近に感じられる貴重な機会となりました。

これからも、作品の制作活動やそれを支えるサポーターの活動が「とても楽しい」ことを学生に感じてもらい、サポーター活動にも加わってもらえるような取り組みを進めます。

■ 問合せ＝観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637



北川総合ディレクター講演の様子



鞍掛さん講演の様子



彫刻ワークショップの様子



地元サポーターもお手伝い



参加者の皆さんと今回彫った作品

「地域と手を携えながら」待望の福祉施設が開所

11月28日(土)：吉田地区山谷地内

小規模多機能型居宅介護事業所「ゆいテラスやまや」のオープニングセレモニーが行われました。この施設は、元JA十日町吉田支店を改修し、「通い」や「短期宿泊」、そして自宅への「訪問」を組み合わせた介護サービスの提供施設として開設されました。施設を運営する社会福祉法人やまびこの根津政雄理事長は、セレモニーの開会あいさつで「地域の方と手を携えながら、地域とともに発展できる施設にしていきたいと思います」と、今後の期待を話しました。

来賓あいさつやテープカットのあとは、この施設のシンボルであるテラスで、地元吉田小学校および吉田中学校の児童・生徒による、太鼓や吹奏楽の演奏がアトラクションとして披露されました。雨が降り寒空の下でのセレモニーとなりましたが、このような温かな雰囲気の中で、集まった地元の人たちは待望であった地域を支える施設の誕生をにぎやかに祝いました。



関係者・来賓によるテープカット



撮影のため、一時マスクを外した写真もありますが、感染症対策を行ったうえで取材・撮影しています

サスティナブルな時代を創る～再生可能エネルギー創出の取り組みは進む

12月13日(日)：松之山温泉、12月23日(水)：エコクリーンセンター

12月13日、松之山温泉「鷹の湯3号源泉」を活用した地熱バイナリー発電所「コミュニティ発電 ザ・松之山温泉」の開所式が行われました。この発電に取り組む松之山温泉合同会社「地・EARTH」の柳一成共同代表は、式典のあいさつで「松之山の資源である熱い温泉を活用した、エネルギー創出が行われることとなりました。実現に向け、平たんな道のりではありませんでしたが、これまで協力いただいた関係者、行政、地域の皆さんに深く感謝を申し上げます。このことも取り入れ、サスティナブルな環境と観光を組み合わせ、地域活性化を目指したいと考えています」と喜びと決意を話してくれました。



「コミュニティ発電 ザ・松之山温泉」の開所式 (松之山温泉「ひなの宿 ちとせ」にて)



使用済み紙おむつ燃料化実証施設の竣工式 (エコクリーンセンターにて)

また12月23日には、使用済み紙おむつ燃料化実証施設の竣工式が行われました。施設はエコクリーンセンター内に設置され、同センターのごみ焼却熱で使用済み紙おむつを乾燥・滅菌し、ペレット燃料化します。この実証事業に取り組む社会福祉法人十日町福祉会の村山薫理事長は、式典後取材に応じ、「循環型社会実現のため、国内でも数少ない実証事業に、市とともに取り組むことができうれしく思います。我々の取り組みが先鞭となって、やがては市内全ての使用済み紙おむつをペレット化できるように、発展させたいです」と決意を話してくれました。

「森の学校」キョロロ
1月15日～2月14日の里山体験プログラム

日時／テーマ		
1月16日(土) 午後1時30分～4時／雪虫さがし(無料)	定10人	
1月17日(日)・24日(日)・31日(日)・2月11日(木祝)・14日(日) 午後1時～2時30分／里山の生き物探検	定20人	
1月23日(土) 午前8時30分～11時30分／定例探鳥会(無料)	定20人、午後1時30分～3時30分／コレクションサポーターズ(無料)	定5人
2月6日(土) 午前10時～正午／ブナの森ようちえん(無料)	定15組	
2月7日(日) 午前10時～正午／十二講	定20人	
※小学3年生以下は保護者同伴		
●入館料＝500円、中学生以下無料		
●参加費＝500円、未就学児無料		
問キョロロ(☎595-8311)		

めぐらんど主催
わくわく木のおもちやであそぼう！

【対】 2月23日（火・祝）午前10時
～ 11時30分
講 高橋俊一さん
対 幼児・小学生とその保護者
会・間 児童センターめぐらん
ど（ ☎ 761-7707 ）

【情報館コンピュータ講習】

【町内役員お助けコース】

【対】 2月23日～3月18日の毎週
火・木曜日午後7時～9時
※全8回
対 ワード・エクセルを初めて
使う人

定 15人※5人以下は中止のときあり
内 ワードでの文書や画像・図形を使った資料の作成、エクセルの基本計算、請求書の作成
会・申・問 情報館（☎750—5100）
第13回 縄文楽検定
日 3月7日（日）初級…午後1時30分～2時20分、中級…午後2時40分～3時40分
定 初級・中級各15人
内 「縄文」と「火焰型土器」をテーマにした縄文楽検定

募集

パブリックコメント募集
第二次十日町市子ども
読書活動推進計画

●期間 1月15日(金)〜29日(金)
●閲覧場所 情報館、各支所・各公民館・市ホームページ
●提出方法 ①問 ②郵送・FAX
(F) 750-5103・電子メール (library@city.tokamachi.niigata.jp) のいずれかで、〒948-0072十日町市西本町2丁目1番地1 情報館(☎750-5100)へ

シルバー人材センター

正職員募集

●募集人数〓1人
●職種〓一般事務
●応募資格〓高卒以上の18歳から30歳までの自動車免許（AT限定不可）を保有する人
●給与月額〓15万円〓
✕1月25日（月）
申・履歴書を郵送または持参で、十日町市本町2丁目（公社）十日町シルバー人材センター（☎752-0888）へ

十日町病院
看護師・看護助手（パート）募集

【看護師（パート）】
●募集人数〓1人
●勤務時間〓午前8時30分～午後3時20分
【看護助手（パート）資格不問】
●募集人数〓5人
●勤務時間〓午前7時30分～午後2時5分、午前8時30分～午後3時20分、午後0時10分～7時

（共通）
●雇用期間〓令和3年3月31

**2月の
ホールイベント予定**

日	内 容
6 日(土)	日本遺産シンポジウム ※詳細は18ページ
7 日(日)	スポーツマンシップ講演会 ※詳細は20ページ

【お知らせ】
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本紙に掲載しているイベント・催し・相談などでも、中止・延期となる場合があります。最新情報
は、それぞれ問合せ先へ確認してください。

催し・講座

エンゼルのチンコロ特別販売

時 1月16日(土)・30日(土)午前9時

会 市身体障がい者福祉センター
問 エンゼル妻有 (☎752-0050)

日本遺産認定記念シンポジウム

【日】2月6日(土)午後1時30分
【会】越後妻有文化ホール「段十
ろう」

内／講基調講演／丁野朗さん（東洋大学大学院国際観光学部客員教授）、パネル

デイスクッション／折原英
 人さん（文化庁参事官・文
 化観光担当）、下仲隆浩さ
 ん（小浜市教育委員会文化
 課日本遺産活用グループ主
 幹）、望月精司さん（小松
 市にぎわい交流部長）、渡
 辺正範さん（十日町市総務
 部長）

1月29日（金）（要事前申込）

申込・問 文化観光推進室（☎7
 55―5133）

笹山縄文カレッジ
火焰型土器チヨコ作り

日
2
月
7
日
(日)

¥1300円

定先着10人

内 本物の火焰型土器破片から

とつた型で本物そっくりの

チヨコを作ります。チヨコ

拓本づくりを行います

持汚れても良い服装

講阿部敬さん（博物館学芸員）

1月31日(日)

申・問 文化財課埋藏文化財係

(博物館内) ☎ 757-15

$$\begin{pmatrix} 5 \\ 3 \\ 1 \end{pmatrix}$$

まちなかステージ
1月15日～2月14日の行事予定表

月	日	内 容
1月	16日(土)	十日町おもちゃ病院(市社会福祉協議会) ●時間＝午前10時～午後3時(受付は午後2時まで) 会分じろう：ルーム1
	17日(日)	アニメ関連フリーマーケット(アニメフレンズ) ●時間＝午前11時～午後6時 会十じろう：ギャラリー
		新潟県地域づくり巡回講座「コロナ禍時代の市民活動とこれから」(新潟ろうきん福祉財団) ●時間＝午後2時～4時 会分じろう：ルーム1・2 ※要申込
	21日(木) 28日(木)	自然食品・エコ商品販売(えことびあ) ●時間＝午前10時～午後3時 会分じろう：ルーム3
	22日(金) 24日(日)	貴金属・ブランド品・金券などの買取 ●時間＝午前9時～午後5時 会分じろう：ルーム1

問 市民交流センター「分じろう」(☎750-7770)
市民活動センター「十じろう」(☎750-7771)

月	日	内 容
2月	10日(水)	とおか市（NPOひとサボ） ●時間＝午前9時～午後1時 会分じろう：マーケット広場
	4日(木)	自然食品・エコ商品販売（えことびあ） ●時間＝午前10時～午後3時
	11日(木・祝)	会分じろう：ルーム3

【分じろう：まちの歴史文化コーナー ^{は っ か け} HAKKAKE】

日時	展示内容
～2月8日(月) 午前9時～午後5時	すず 珠洲焼の壺
2月10日(水)～4月5日(月) 午前9時～午後5時	縄文土器と蓋(中島遺跡)

問越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館
「段十ろう」(☎757-5011)

- 利用申込時に掲載を希望したイベントのみお知らせします
- 段十ろうホームページ、Facebookでも情報を随時お知らせしています

令和3年度 十日町市奨学生を募集します（貸与型奨学金）

- 対象** 令和3年度に、高等学校・高等専門学校・専修学校・大学（短大を含む）に進学予定または在学中で、次の全てに該当する人
- ・保護者が市内に住所を有していること
 - ・学業成績が優秀であること
 - ・経済的な理由で学費の支払いが困難なこと

- 提出書類**
- ①奨学金等貸与願書
 - ②在学（卒業）学校長の推薦書
 - ③成績証明書
 - ④世帯の中に令和2年1月2日以降に市内に転入した人（ただし、小・中学生や高校生以上の学生は除く）がいるときは、その人の分の令和2年度（平成31・令和元年分）所得課税証明書
- ※①と②は教育総務課・本庁子育て支援課・市内中学校・郡市内高等学校に用意してあるほか、市ホームページでも入手可
- ※④を本人以外が窓口で請求するときは委任状が必要

●**奨学金月額**

高 等 学 校	10,000円
高等専門学校	20,000円
専 修 学 校	30,000円
大 学 ・ 短 大	35,000円

●**入学準備金（令和3年度入学予定者のみ）**

高 等 学 校	200,000円
高等専門学校	300,000円
専 修 学 校	300,000円
大 学 ・ 短 大	500,000円

- 貸与期間**＝令和3年4月から最短修業年限の終わりまで（無利子）

令和2年にコロナ禍などにより収入が急変した人は、相談してください。

令和3年度 市内で働く看護師など修学生を募集します

- 対象** 令和3年度に、以下の職の養成施設に進学または在学する人で、将来十日町市内でその業務に従事しようとする人（市の奨学金を受けていないこと）

看 護 師	作 業 療 法 士
准 看 護 師	言 語 聴 覚 士
保 健 師	社 会 福 祉 士
助 産 師	介 護 福 祉 士
理 学 療 法 士	精 神 保 健 福 祉 士



- 貸与月額**＝25,000円
- 貸与期間**＝令和3年4月から最短修業年限の終わりまで（無利子）
- 提出書類**＝貸与申請書・健康診断書・保証書・口座振込申込書（以上、市ホームページから入手可）・学業成績表
- 他** 養成施設卒業後に資格を取得し、引き続き十日町市内でその業務に従事したときは、その期間などにより修学資金の返還が免除されることがあります。詳しくは問い合わせてください。
- ㊄ 2月26日(金)
- 申・問** 医療介護課地域包括ケアシステム推進係（☎757-3511）

放送大学4月生募集

放送大学は、テレビやインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。心理・教育・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、幅広い分野を学ぶことができます。

●**出願期限** 第1回…2月28日(日)、第2回…3月16日(火)

●**問** 放送大学新潟学習センター（新潟市中央区・☎025-228-2651）

委員募集
十日町市住みよ環境への審議会

●**内** 市民の諮問に応じ、環境保全などを調査・審議します

●**募集人数** 2人

●**期間** 4月1日～3年間

●**応募資格** 市内に引き続き3か月以上住所のある20歳（令和3年4月1日現在）以上で、環境保全に関し知識・経験・関心などがある人

●**選考方法** 書類審査

●**報酬** 審議会1回につき5500円

●**㊄** 3月1日(月)

●**会** 問 応募申込書（環境衛生課に設置・または市ホーム

福祉・健康

ページからダウンロード可）と環境に関する作文（400字程度）を持参または郵送で、〒948-0005 十日町市丑915-2 環境衛生課（☎752-3924）へ

2月の全血献血

2月は予定していません。健康づくり推進課母子保健係（☎757-9759）

子育て

児童手当の定期支払

2月10日(水)に10～1月分を支給します。

●**問** 子育て支援課子育て支援係（☎757-3719）

スポーツ

スポーツマンシップを考える

●**日** 2月7日(日)午後2時～4時 ※受付午後1時15分～

くらし・相談

会 越後妻有文化ホール「段十ろう」

●**¥** 500円、高校生以下無料

●**申** 市総合体育館（☎752-4377）

●**問** 実行委員会事務局・庭野（☎090-1034-5373）

1月の納税・納付

1月は国民健康保険税第7期、後期高齢者医療保険料および介護保険料第10期の納付月です。期限（2月1日(月)）内に納めましょう。

●**問** 市民生活課（☎757-735）・医療介護課（☎757-3757）

2月の休館日

●**段** 十ろう 8日(月)・22日(月)

●**千** 手中央コミュニティセンター 毎週(火)・11日(祝)・23日(祝)

●**情** 報館 1日(月)～10日(水)・22日(月)

●**博** 物館 1日(月)・8日(月)・15日(月) ※22日(月)は開館

十日町市高齢者福祉計画・介護保険事業計画、十日町市障がい福祉計画・障がい児福祉計画パブリックコメント募集

●**問** 下表の各担当

下表のとおり、今年度作成する福祉分野の計画（素案）への意見を募集します。

計画（素案）名	募集期間	担当（案の閲覧場所※・意見提出先）
十日町市高齢者福祉計画	1月12日(火)～29日(金)	福祉課高齢者支援係（☎757-9758・Email：t-fukushi@city.tokamachi.lg.jp）
介護保険事業計画		医療介護課介護保険係（☎757-3757・Email：t-iryo@city.tokamachi.lg.jp）
十日町市障がい福祉計画・障がい児福祉計画	2月11日(木)～22日(月)	福祉課障がい福祉係（☎757-3782・Email：t-fukushi@city.tokamachi.lg.jp）

※各支所市民課、医療福祉総合センター、情報館、各公民館では3つの計画案全てを閲覧できます

- 意見の提出方法**＝用紙（各計画案に添付、または市ホームページからダウンロード）を持参・郵送（〒948-8501十日町市千歳町3-3）・ファックス（☎757-3800）・電子メール（上表中記載）のいずれかで提出

農振農用地の除外などに係る手続きを一時中断します

市では、農業振興地域および農業振興地域整備計画書の見直し統合を行う予定です。農振農用地内に建物を建てる時などは、農振農用地の除外などの手続きが必要ですが、統合期間中は、この手続きを一時中断します。除外などの手続きは、7か月程かかりますので急を要する案件は、令和3年3月末までに相談してください。

- **手続きの中断期間**＝令和3年11月～令和4年6月末
- ☎ 農林課農業企画係（☎757-3120）

【**皇証遺書を法務局が保管します**】
法の施行で、皆さんが作成した「自筆証書遺言書」を、法務局で保管できるようにしました。これにより、「家

【**相続登記の無料相談**】
毎年2月の1か月間を「相続登記はお済みですか月間」と定め、県内司法書士各事務所^所で無料相談を行っています。気軽に相談してください。
● **期間**＝2月1日(月)～27日(土)まで各事務所執務時間内
☎ 県司法書士会（☎025-244-5121）

【**空き家の適時適切な除雪を**】
空き家の除雪は所有者の責務です。空き家からの落雪により、近隣宅や道路通行などに支障をきたす事故となることもあります。積雪状況を把

族に見えられないかもしれない」、「改ざんされるかもしれない」などの心配がなくなり、大切な財産を大切な人へ確実に託すために、自分で書いた遺言書を法務局へ保管しませんか。詳細は法務局へ問い合わせてください。
☎ 新潟地方法務局十日町支局（☎752-2575）

【**女性相談専用電話**】
日 月 金曜日午前8時30分～午後5時15分（祝日・振休除く）
● **相談**＝☎757-3701（市民生活課市民係内）

【**教育相談**】
日 月 金曜日午前9時～午後4時（祝日・振休除く）
会・☎ 教育相談センター（丸山町・☎752-7565）

【**働くことに悩む人のワン・ステップ相談**】
日 2月10日(水)・24日(水)両日とも午前10時～正午※開催日以外にも随時相談可
会 保健センター（市役所本庁隣）
申・☎ 福祉課福祉支援係（☎757-9739）

4月30日を任期満了とする十日町市議会議員・市長選挙のお知らせ

- **告示日**＝4月18日(日)
- **投票日・開票日**＝4月25日(日)
- **投票所の閉鎖時間**＝午後6時・5時・4時
※今回から投票所を市内79か所から57か所に統合します。各投票所の投票時間などの詳細は、市報2月10日号でお知らせします
- **開票開始時間**＝午後7時～市総合体育館
- **期日前投票**＝4月19日(月)～24日(土)十日町保健センター：午前8時30分～午後8時、各支所：午前8時30分～午後7時
- 【**立候補予定者事前説明会**】
 - ・市長候補者：3月26日(金)午後2時～市役所防災庁舎大会議室
 - ・市議候補者：3月29日(月)午後2時～千手中央コミュニティセンター

- 【**期日前投票の立会人を募集します**】
 - **対象条件**
 - ・十日町市の選挙人名簿に登録されており選挙権を有する人
 - ・特定の候補者の選挙運動や政治活動を行っていない人
 - 定 若干人
 - 内 投票用紙の交付、投かん、持ち帰りの誤りがないかの確認など
 - **期間**＝4月19日(月)～24日(土)保健センター：午前8時30分～午後8時、各支所：午前8時30分～午後7時
 - ☒ 3月1日(月)
 - 〈共通〉
 - 申・☎ 選挙管理委員会事務局（☎757-3191）

日 日時 休 休館日 会 会場 対 対象者 料 料金（記載がないときは無料） 定 定員 内 内容
持 持ち物 講 講師 他 その他 ☒ 締め切り 申 申し込み 問 問い合わせ F A X

● **まつだい郷土資料館**＝毎週(火)・(水)
● **まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」**＝改修工事のため休館（里山食堂毎週(火)・(水)）
● **市総合体育館**＝16日(火)
● **川西総合体育館**＝24日(水)
● **なかさとアリーナ（中里体育館）**＝9日(火)
● **松代総合体育館**＝毎週(月)ひだまりプール＝毎週(火)
● **キヨロク**＝23日を除く毎週(火)・24日(水)
● **分じろう**＝毎週(火)
● **十じろう**＝毎週(火)
【**国民年金保険料に関するお知らせ**】
【**前納申出期限（口振）が迫っています**】
4月から口座振替で前納振替（6か月分・1年分・2年分）を始めるためには、2月末までに申し出が必要です。まとめて支払うことで、割り引きされた保険料が適用されます。
持 通帳、届出印、年金手帳、免許証

【**社会保険料控除証明書が発送されます**】
10月1日～12月31日に、その年初めて国民年金保険料を納めた人に對し、2月上旬に日本年金機構から社会保険料控除証明書が発送されます。令和2年分の確定申告に使用するので、大切に保管してください。また、再発行は最寄りの年金事務所に問い合わせてください。
（共通）
申・☎ 六日町年金事務所国民年金課（☎025-716-0800）、市民生活課国民年金係（☎757-3748）または各支所市民課
【**蔵書点検のため情報館と各分室を休館します**】
日 2月1日(月)～10日(水)
● **休止するサービス**＝情報館・分室の図書・雑誌・音声映像資料の貸出、集会所などの施設の利用
● **図書などの返却**＝情報館と川西・松代分室はブックポストへ返却（音声映像資料、ブックポストに入らない大型絵本などは、点検期間後

の開館日に直接返却）。ほかの分室は、公民館の職員に返却
☎ 情報館（☎750-5100）
【**マイナンバーカードを使用したコンビニなどでの証明書取得停止日**】
日 2月3日(水)～5日(金)終日および2月25日(木)午後5時～2月26日(金)午後3時まで
内 機器メンテナンスのため証明書の取得はできません
☎ 市民生活課市民係（☎757-3116）
【**2月マイナンバー時間外開庁日（本庁舎）**】
日 2月10日(水)・25日(木)午後5時15分～午後7時、2月20日(土)午前9時～午後4時
会 本庁舎1階3番窓口（市民生活課）
内 マイナンバーカードの申請、受取り、電子証明書の更新手続きなどの受付
他 要事前予約
申・☎ 市民生活課市民係（☎755-5154）

【**農業用免税軽油の申請手続き**】
日 2月18日(木)・19日(金)
会 十日町地域振興局
内 農業のためトラクター、コンバインなどに使用する軽油について1リットルあたり32・1円の軽油引取税を免除する制度の申請
● **提出書類（初めての人）**＝機械の所有証明（販売店が発行する販売証明など）およびカタログ、農業委員会
● **提出書類（初めての人）**＝機械の所有証明（販売店が発行する販売証明など）およびカタログ、農業委員会

【**新潟県の雪情報**】
● **期間**＝毎年12月1日～翌年3月31日まで
● **サービスの内容**

- ・県内37地点の降雪量予測、気象状況などがわかります
- ・降雪量予測は1日2回（午前10時・午後4時）更新します
- ・過去の降雪統計データや気象庁発表の警報、スキー場・観光情報などへのリンク集もあります

☎ 県地域政策課特定地域振興班（☎025-280-5088）※詳しくはインターネットから「新潟県の雪情報」で検索

【**マイナンバーカードを使用したコンビニなどでの証明書取得停止日**】
日 2月3日(水)～5日(金)終日および2月25日(木)午後5時～2月26日(金)午後3時まで
内 機器メンテナンスのため証明書の取得はできません
☎ 市民生活課市民係（☎757-3116）
【**2月マイナンバー時間外開庁日（本庁舎）**】
日 2月10日(水)・25日(木)午後5時15分～午後7時、2月20日(土)午前9時～午後4時
会 本庁舎1階3番窓口（市民生活課）
内 マイナンバーカードの申請、受取り、電子証明書の更新手続きなどの受付
他 要事前予約
申・☎ 市民生活課市民係（☎755-5154）

【**マイナンバーカードを使用したコンビニなどでの証明書取得停止日**】
日 2月3日(水)～5日(金)終日および2月25日(木)午後5時～2月26日(金)午後3時まで
内 機器メンテナンスのため証明書の取得はできません
☎ 市民生活課市民係（☎757-3116）
【**2月マイナンバー時間外開庁日（本庁舎）**】
日 2月10日(水)・25日(木)午後5時15分～午後7時、2月20日(土)午前9時～午後4時
会 本庁舎1階3番窓口（市民生活課）
内 マイナンバーカードの申請、受取り、電子証明書の更新手続きなどの受付
他 要事前予約
申・☎ 市民生活課市民係（☎755-5154）

【**農業用免税軽油の申請手続き**】
日 2月18日(木)・19日(金)
会 十日町地域振興局
内 農業のためトラクター、コンバインなどに使用する軽油について1リットルあたり32・1円の軽油引取税を免除する制度の申請
● **提出書類（初めての人）**＝機械の所有証明（販売店が発行する販売証明など）およびカタログ、農業委員会
● **提出書類（初めての人）**＝機械の所有証明（販売店が発行する販売証明など）およびカタログ、農業委員会

【**新潟県の雪情報**】
● **期間**＝毎年12月1日～翌年3月31日まで
● **サービスの内容**

- ・県内37地点の降雪量予測、気象状況などがわかります
- ・降雪量予測は1日2回（午前10時・午後4時）更新します
- ・過去の降雪統計データや気象庁発表の警報、スキー場・観光情報などへのリンク集もあります

☎ 県地域政策課特定地域振興班（☎025-280-5088）※詳しくはインターネットから「新潟県の雪情報」で検索

2月のちびこひろば

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・延期となることがあります。参加を希望するときは、事前に各問い合わせ先へ確認をしてください。

すこやかランド

今年度の活動は終了しました。
問段十ろう（☎757-5011）

なかよしランド

日／会 2日(火)・9日(火)・16日
(火)／サンクロス
●時間＝午前10時～11時
対 未就園児とその保護者
¥年間1,000円(保険代含む)
問 段十ろう (☎757-5011)

いっしょにあそぼ

日 4日(木)・18日(木)・25日(木)
 午前10時～11時
対 未就園児とその保護者
会 ・ 間 水沢公民館
 (☎758-3101)

橘にこにこルーム

5日は「春を呼ぶ集い」。
日 5日(金)・19日(金)午前9時
 30分～11時30分
会 川西高齢者コミュニティセ
 ンター
対 未就園児とその家族
問 子育て支援センターえくぼ
 (☎768-2352)

ぼぼっこひろば

遊び場を提供しています。

日 毎週月・水曜日午前10時～午後3時

会 川西福祉センターはあとふる川西

他 飲食持ち込み可

間 川西地域振興会
(☎768-4951)

十日町おやこ劇場

「わくわく・キッズ」
 日 4日(木)・18日(木)午前10時～
 会 千手中央コミュニティセン
 ター
 ￥ 1回無料※2回目から300円
 持 飲み物・着替え
 問 丸山 (☎090-2548-0507)

おはなしの会「ふきのとう」

今年度はお休みです。
問 千手中央コミュニティセン
ター (☎768-2308)

おはなしひろば

当分の間お休み（再開時期
未定）です。
問 中里公民館（中里庁舎内
☎763-2493)

おはなしぴよぴよ

2月はお休みです。
問 情報館 (☎750-5100)

読み聞かせの会「どんぐり」

今年度はお休みです。
問情報館 (☎750-5100)

おはなし「たまてばこ」

今年度はお休みです。
問情報館 (☎750-5100)

おはなしたんぽぽ

当分の間お休み(再開時期
未定)です。
問 情報館松代分室
(☎597-2615)



寄付ありがとう ※敬称略

● **とおかまち応援寄附金**＝村山則子（下条本町）、山田広文（下条下山）、水落友章（下条本町）、水落悟（原）、田村研一（下条栄町）、樋口友章（下条下山）、近藤俊介（上新田1）、杉本セツ（さいたま市）、近藤正男（原）、近藤裕樹（上新田1）、伊東美加（新潟市）、佐藤久美子（横浜市）、志賀尚子（愛知県瀬戸市）、角山安司（上新田2）、山田賢司（水口）、山田純子（水口）、小宮山潔（澁野）、近藤泰裕（上新田4）、石塚文男（川崎市）、高橋伸之介（下条栄町）、生越徹（下条栄町）、村山正二（岩野）、小島尉嗣（貝ノ川）、佐藤栄策（新光寺）、高橋伊勢松（横浜市）、羽鳥孝子（名ヶ山）、山岸昭三（東京都文京区）、水落純子（下条本町）、岡村久男（北新田2）、岡村真理子（北新田2）、樋口千春（本町7-1）、小嶋俊雄（為永）、中川秀子（上新田3）、佐藤雅也（愛知県東海市）、佐藤修也（東京都調布市）、富井裕紀（馬場4）、西條亜子（上越市）、大島慎平（蟹沢）、大島和代（蟹沢）、飯塚義一（千葉県船橋市）、遠藤八十一（本町5）、牧田嘉正（東京都江戸川区）、阿部徹（上新田1）、佐藤サキ（新光寺）、山田昭広（神奈川県綾瀬市）、山崎平三（東京都足立区）、二森浩行（川崎市）、渡邊恵（大阪市）、磯部清（長野県佐久市）、田辺健一（東京都町田市）、猪股進（神奈川県逗子市）、大川健一（大阪府東大阪市）、大川一馬（大阪市）、本間雅人（新潟市）、浦上秀次郎（東京都世田谷区）、加藤哲朗（東京都渋谷区）、齊藤糸絵（東京都葛飾区）、市川良治（東京都足立区）、市川秀次（東京都足立区）、堀口貴史（東京都江東区）、水落健二（新潟市）、重川和廣（横浜市）、金澤茂男（神奈川県平塚市）、鷹野公生（東京都国立市）、佐藤正典（東京都文京区）、山本俊彦（東京都品川区）、上保亜矢（埼玉県志木市）、埜島真美（富山市）、南雲秀毅（群馬県高崎市）、田上美恵（埼玉県朝霞市）、太田六郎（静岡市）、船迫加那（東京都新宿区）、鈴木睦実（東京都文京区）、今井等（東京都杉並区）、樋口基雄（東京都八王子市）、根津万寿夫（東京都板橋区）、林和信（埼玉県北本市）、小楠遥（横浜市）、山田秀典（愛知県西尾市）、鈴木祥弘（埼玉県鴻巣市）、郡司登（横浜市）、橋谷義典（東京都世田谷区）、遠藤二郎（横浜市）、作誠太郎（愛知県一宮市）、笹川亨（新潟市）、稲垣孝次（浜松市）、エリソン・アントニー（東京都渋谷区）、村林真幸（名古屋市）、黒住要（岡山県玉野市）、森田竜史（東京都新宿区）、早川敏（東京都文京区）、辻岡大志（大阪市）、森口幸治（大阪府堺市）、肥田幸春（東京都渋谷区）、佐伯卓也（岐阜県川辺町）、佐藤茂（東京都府中市）、小松幸弘（山形県中山町）、根津剛（上野）、眞霜卓也（愛媛県西条市）、福岡有基（大阪府堺市）、笠井健司（千葉県浦安市）、丸山沙織（千葉県船橋市）、中山修（兵庫県宝塚市）、藤巻祐輔（東京都中央区）、土田雅彦（埼玉県富士見市）、金森敏幸（茨城県つくば市）、植田徳幸（東京都八王子市）、宮田健（埼玉県川口市）、関口順子（東京都文京区）、伊藤司（岩手県盛岡市）、平松勝彦（神奈川県横須賀市）、當間政禎（横浜市）、森山泰明（東京都武蔵野市）、宮田純佳（東京都町田市）、何丹（さいたま市）、増山弘治（栃木県栃木市）、大内敦（東京都品川区）、平上吾郎（千葉市）

● **情報館分**＝石澤健治（本町6-3）、羽鳥智恵子（山本町4）、庭野重吉（上川町）、山崎弘子（泉町）、ホープ歯科クリニック（寿町2）

● **発達支援センター**＝イオンリテール株式会社イオン十日町店（療育教材・玩具ほか）

市は十日町音声訳サークルに市報とおかまの音声訳化を委託し、ホームページでも公開しています。詳しくは企画政策課広報広聴係（☎757-3112）へ問い合わせてください。

高齢者の皆さんの生活を
サポートします **地域包括支援センター**



センター名	担当地区	電話
十日町北地域包括支援センター	下条・中条・川西	☎761-7406
十日町東地域包括支援センター	十日町・新座・大井田	☎757-3551
十日町中地域包括支援センター	川治・六箇・吉田	☎755-5115
十日町南地域包括支援センター	水沢・中里	☎758-2324
十日町西地域包括支援センター	松代・松之山	☎597-3805

〔情報館〕2月のテーマ図書 ※テーマは一部変更したり追加したりすることがあります
 〓情報館 (8750-5100)

一般向け

あま〜い 「リンツのチョコレートと55のレシピ」、「お菓子の包み紙」など、お菓子や恋愛など、さまざまな「あまい」本を紹介します。

健康読本 「ガン入院オロオロ日記」、「病気&診療完全解説BOOK」など、寒さが厳しくなる季節に健康について考える本を紹介します。

児童向け

ニャンニャンニャン 「ねこはすっぱり」、
「たまちゃんとしっぽ」など、猫の日にな
んで猫が登場する本を紹介します。

おやつ いっぱい! 「やたいのおやつ」、
「ばけばけばけばけばけたくん おかし
の巻」など、おいしいお菓子が
出てくる本を紹介します。

◆2月の健康・福祉の相談

保健師による健康相談

日 8日(月)午前9時30分～11時30分
会 保健センター（市役所本庁隣）
申・問 健康づくり推進課成人保健係
（☎757-9764）

臨床心理士こころの相談会

日 18日(木)午後1時～3時
会 保健センター（市役所本庁隣）
※16日(火)
申・問 健康づくり推進課成人保健係
（☎757-9764）

発達支援に関する相談

日 月～金曜日午前8時30分～午後5時15分（祝日・振休・年末年始を除く）

対 18歳まで
問 発達支援センター（☎752-7270）

手話奉仕員窓口配置

日 3日(水)・17日(水)午前11時～午後3時

会・問 福祉課（☎757-3782）

電話による健康相談

とおかまち健康ダイヤル24
☎0120-108-221（市民専用）

※24時間・年中無休
※通話・相談無料

専用ダイヤル登録用
QRコード



十日町市新型コロナウイルス感染症相談窓口

☎761-7413
日 毎日午前8時30分～午後5時15分
内 新型コロナウイルスに関する一般的な相談

新潟県こころの相談ダイヤル

☎0570-783-025
※24時間・年中無休

◆2月のそのほかの相談

行政相談

日／会 12日(金)午前10時～／本庁相談室、17日(水)午後1時30分～／はあとふる川西、18日(木)午前10時～／中里庁舎
問 市民生活課市民係（☎757-3116）

法律相談

日 4日(木)・18日(木)午後1時30分～4時
会 本庁相談室
申・問 市民生活課市民係
（☎757-3116）※要予約

2月の休日救急医

●診察受付時間＝午前8時30分～（午後の診察時間は直接センターに問い合わせてください）

期 日	医療機関名	住 所	電話番号
7日(日)	休日一次救急診療センター （国保川西診療所内）	高原田（川西）	768-2034
11日(木)(祝)			
14日(日)			
21日(日)			
23日(火)(祝)			
28日(日)			

※症状などをお聞きますので、お越しになる前にお電話をお願いします
※変更があったときは、市ホームページやあんしんメールなどでお知らせします

休日一次救急診療センターご案内



- ・各種予防接種や予防診療、登園・登校許可証の記入はできません。平日にかかりつけ医や近くの病院へ問い合わせてください
- ・休日や夜間に医療機関の受診の判断に迷ったときは、左記の「電話による健康相談」などを利用してください
- ・津南病院では土曜日（第5除く）に内科と小児科の診療を行っています

問 医療介護課（☎757-3757）

救急医療電話相談（概ね15歳以上）

☎ #7119
日 毎日午後7時～翌朝午前8時
内 急な病気やけがなどに関する相談

小児救急医療電話相談（15歳未満）

☎ #8000
日 毎日午後7時～翌朝午前8時
内 急な発熱やけがなどに関する相談

教育相談・女性相談専用電話は23ページをご覧ください

定例年金相談

日 10日(水)・25日(木)午前10時～正午、午後1時～3時
会 クロステン
申・問 日本年金機構六日町年金事務所
（☎025-716-0802）※要予約

消費生活相談

日 月～金曜日午前9時～午後4時（祝日・振休・年末年始を除く）
対 悪質商法・買い物・契約で困っている人
他 電話相談のみ
申・問 市消費生活センター
（☎757-3740・F752-6924）

多重債務相談

日 24日(水)午後1時～4時※22日(月)までに要予約
会 本庁相談室 内 借金トラブル
問 市消費生活センター（☎757-3740）

心配ごと相談

日 随時受付
会・申・問 社会福祉協議会
（☎750-5010）

生活困窮者相談

日 午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝日を除く）
会・問 社会福祉協議会（☎757-3565）

子ども情報のひろば

2月の育児相談ほか

〔健康相談〕 ※要予約・人数制限あり

期 日	会場・実施時間
3日(火)	千手中央コミュニティセンター 午前9時30分～11時30分
5日(金)	松代 子育て支援センター「すくすく」 午前9時30分～10時30分
12日(金)	中里 子育て支援センター「きらりん」 午前10時～11時30分
16日(火)	保健センター（市役所本庁隣） 午前10時～11時15分

申・問 3日・5日・12日は各支所市民課、16日は健康づくり推進課母子保健係（☎757-9759）へ問い合わせてください

〔育児相談ほか〕

期 日	受付時間	内容
4日(木)	午前10時～11時30分	身体測定・栄養相談 ※身体測定のみ午後3時30分まで
16日(火)	午前10時～11時30分 午後は予約制（要事前連絡）	育児相談 ※身体測定は行いません

会・問 子育て支援センター「くるる」 ☎757-1008

離乳食教室

※要予約・人数制限あり

〔離乳のはじめてコース〕

日 2月16日(火)
対 5～6か月児
●受付＝午前9時45分～10時
会 保健センター（市役所本庁隣）
持 母子健康手帳・筆記用具
問 健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

子どもをむし歯から守る ブラッシング相談

※要予約、人数制限あり

日 2月3日(水)午前9時30分～11時30分
会 千手中央コミュニティセンター
対 未就学児とその保護者
持 歯ブラシ・母子健康手帳・タオル
問 川西支所市民課市民係 ☎768-4956

2月の乳幼児健診

感染症予防対策として、受付時間を分けて実施します。対象者には個別に通知します。

会 保健センター（市役所本庁隣）

持 母子健康手帳・問診票・フッ化物歯面塗布希望確認票（1歳6か月児）・視聴覚アンケート（3歳6か月児）・健やか親子21に基づくアンケート（4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児）バスタオル・着替え・おむつ・コロナ問診票など

事業名	期 日	実施時間	対 象 児
4か月児健診	24日(水)	午後	2年10月 生まれの乳児
10か月児身体測定	25日(木)	午前	2年4月 生まれの乳児
1歳6か月児健診	17日(水)	午後	1年7月 生まれの幼児
2歳6か月児身体測定	17日(水)	午前	30年8月 生まれの幼児
3歳6か月児健診	16日(火)	午後	29年8月 生まれの幼児

問 健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

あいどるきゃす 185



松下 萌ちゃん（6歳）
萌菜ちゃん（3歳）
千代田町

互いのことを思いやる、仲良し姉妹の萌ちゃん（写真右）と萌菜ちゃん（写真左）。萌ちゃんは体育で縄跳びと鉄棒を頑張っています。萌菜ちゃんはおしゃべりが上手になり、家族との会話が弾むようになりました。2人の名前につく「萌」の文字には、明るく希望を持って成長してほしいという、両親の思いが込められています。

Q 1

あなたの会社の仕事、会社の強みは？

主に道路の舗装工事を行っています。現場施工の技術者・技能者が4班に分かれて工事を行っており、繁忙期でもお客様さまの要望に対応できる機動力が、最大の強みです。

Q 2

この仕事を始めたきっかけは？

幼なじみの先輩が当社に入社し、楽しそうに働いている姿を目にしたことがきっかけです。その先輩の影響で舗装工事に興味を持ち、自分もここで働きたいと思い、高校卒業後に入社しました。

Q 3

これまでの努力や苦労は？

現場ではたくさんさんの機械を使います。最初はコツをつかむのに苦労しましたが、それぞれの機械の特性を理解して、早く使いこなせるように努力しました。今は班長として現場の指揮を任されているので、効率よく作業を回すことができるよう、全体の管理に努めています。

Q 4

この仕事のやりがいとは？

工事をきちんと仕上げることで、お客さまに満足していただけたときは、とてもやりがいを感じます。そのためにも、日頃からチーム一丸となり、社員同士で積極的にコミュニケーションをとることを意識しています。



冬期間は除雪車も運転します

Q 5

今後の目標は？

才能あふれる若手から経験豊富なベテランまで、社員同士が積極的に意見交換を行い、一人ひとりのさらなる技術力の向上を目指します。そして、会社全体をもっと盛り上げていきたいです。

わたしの会社のいちおし

ワーカー

vol.32

語る 仕事・会社・
十日町市への思い



三田 勇さん（笹之沢・39歳）

市内出身。高校在学中に知人の影響で舗装工事に興味を持ち、高校卒業後に入社。以降、現場で多くの経験を積み、現在は工事主任として現場の指揮をとる。

協力
企業



上越舗道株式会社

- 舗装工事、アスファルト混合物製造・販売、アスファルトリサイクル、道路除雪
- 従業員数44人
- 十日町市伊達甲38-2 (☎758-2224)
- 令和2年度新潟県優良工事表彰、優秀技術者表彰を受賞するなど、当社の技術力は高く評価されています。今後も地域に寄り添い、貢献できるよう努めていきます

紹介したい
従業員を
募集します!!

問 産業政策課
商工振興係
☎757-3139